

# 令和 4 年度 当初 予算 案

## 主な施策における取組の方向性について

## 目 次

ポストコロナを見据えた県内経済の活性化	.....	1
千葉の農林水産業の振興	.....	2
福祉の充実（介護人材確保、障害児の療育支援、ヤングケアラー支援等）	.....	3
子ども施策の充実（保育人材確保、児童虐待防止等）	.....	4
教育施策の充実（学力向上、心のケア）	.....	5
オリンピック・パラリンピックのレガシーの活用	.....	6
デジタル技術の効果的な活用	.....	7
道路ネットワークの整備	.....	8
土砂災害・浸水対策	.....	9
一宮川流域浸水対策	.....	10

# ポストコロナを見据えた県内経済の活性化

～災害やコロナの感染長期化で落ち込んだ観光・消費の回復を図り、中長期的な経済基盤確立に向けた土台づくりを着実に進める～

課題

取組の方向性

R4の主な事業

戦略的な企業誘致の推進

成田空港の機能強化や広域交通網の整備による立地優位性と、本県ならではの地域環境を活かし産業集積を進めます。

- 立地企業補助金 615百万円
- 戦略的企業誘致の推進 26百万円
- 産業用地確保に係る基礎調査事業 (R3～R4) ⇒調査結果を踏まえ、更なる企業誘致施策について検討

中小企業の総合的な支援

・ 事業承継・事業再構築等を伴走型支援  
・ デジタル技術の活用やマッチングの場の提供

- 中小企業振興資金 4,000億円
- 中小企業のサポート体制の強化 190百万円
- 中小企業デジタル技術活用支援事業 65百万円
- 中小企業人材採用・魅力発信サポート事業 20百万円

起業・創業新産業創出

ポストコロナの持続的な成長に向け、産学連携・企業間マッチング等により新技術や成長産業を創出

- 健康・医療ものづくり推進事業 58百万円
- ちばのキラリ商品支援事業 35百万円
- ちば起業家応援事業 16百万円
- 中小・ベンチャー企業技術交流促進事業 9百万円
- 創業資金信用保証料補助金 20百万円

産業人材の確保・育成

・ 情報化や技術革新に対応できる人材の確保  
・ 多様な人材の活躍による経済活力の維持・向上

- ジョブカフェちば事業 147百万円
- 千葉県ジョブサポートセンター事業 83百万円
- 離職者等再就職訓練事業 1,293百万円
- 障害者雇用サポート事業 36百万円
- 市原高等技術専門学校整備事業 893百万円

カーボンニュートラルへの対応

再エネをリードする産業の集積や県内企業によるSDGs対応等を支援

- ゼロカーボン促進信用保証料補助金 10百万円
- 海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業 6百万円
- 千葉の特徴を活かした水素需給モデル調査事業 10百万円

観光立県ちば

日帰りから宿泊へのシフトやワーケーション、二地域居住の需要の取り込み

- 観光コンテンツ高付加価値化促進事業 100百万円
- ちばワーケーション受入促進事業 70百万円
- ちばの「新しい働き方」推進事業 50百万円

連携

各種観光プロモーション事業

千葉ライフの実現

新たな日常化での多様な働き方により、本県の豊かな自然の中で、個々に応じた自己実現を支援

住み・はたらき・旅したい「選ばれる」千葉県に

高付加価値を創出し続ける千葉県

# 千葉の農林水産業の振興

(目標) 農業産出額 現状:3,852億円→R7:4,500億円 漁港水揚金額 現状:476億円→R7:580億円

※現状値 農業産出額：R2 漁港水揚金額：R1 ※R7は次期(R4~R7)農林水産業振興計画(案)の目標値

## 人材の育成・確保

- 法人化の促進や円滑な経営承継に向けた取組支援
- 地域での新規就農者サポート体制の整備 など

■ R 4 当初予算の主な事業

**ちばの次世代農業経営体育成事業 13百万円、農業大学校大規模改修 11億38百万円、新規就農者等に対する資金支援 6億93百万円、森林・林業担い手確保・育成対策事業58百万円**

## 成長力の強化

- 生産性の向上に必要な機械・施設やスマート技術の導入支援
- 主食用米から飼料用米、高収益作物等への転換促進
- ほ場の大区画化や漁港の整備等の生産基盤の強化 など

■ R 4 当初予算の主な事業

**農畜水産業におけるスマート化の推進【一部新規】1億30百万円、飼料用米等拡大支援事業 5億39百万円、土地改良事業 158億43百万円、漁港建設事業 44億76百万円、磯焼け緊急対策事業【新規】9百万円**

## 販売力の強化

- 県産農林水産物の需要創出・拡大
- 千葉の強みを生かした県産農林水産物の海外市場への展開 など

■ R 4 当初予算の主な事業

**新しい千葉の食文化創生事業【新規】20百万円、県産農林水産物販売促進事業 37百万円、県産農林水産物輸出促進事業 62百万円**

## 農山漁村の活性化

- 房総ジビエや6次産業化等の取組支援
- 移住・定住につながる都市部との交流促進 など

■ R 4 当初予算の主な事業

**6次産業化推進事業【一部新規】1億13百万円、イノシシ等有害獣被害防止対策事業 3億93百万円、農山漁村振興交付金事業 46百万円、多面的機能支払交付金事業 16億12百万円**

## 危機管理の強化

- 収入保険制度の加入促進と計画的な防災・減災対策の推進
- 速やかな被害情報収集・共有と迅速な復旧・復興支援 など

■ R 4 当初予算の主な事業

**収入保険加入推進事業【新規】31百万円、農地防災事業 27億69百万円、治山事業 18億99百万円、森林整備事業 3億10百万円、家畜保健衛生所機能向上事業 1億63百万円**

# 福祉の充実（介護人材確保、障害児の療育支援、ヤングケアラー支援等）

## 介護人材の確保・定着

### 取組の方向性

- 介護職に関する理解促進により、就業希望者の増加を図ります。
- 各種就業支援、外国人介護人材の就業促進により、人材確保を図ります。
- 働きやすい環境を整備することで、就業先としての魅力を高めます。

### 今後の展開

#### ■介護人材確保対策事業【一部新規】 (R4：480百万円)

##### <主な事業>

- ・介護人材確保対策事業費補助  
新規就業者への研修、キャリアアップ研修等
- ・介護職の理解促進・魅力発信事業【新規】  
映像を活用して学生や保護者の理解を促進
- ・外国人介護職就業促進事業
- ・介護現場における働き方改革促進事業【新規】  
3年間モデル事業を実施し横展開を図ります

## 障害のある子どもの療育支援体制の充実

### 取組の方向性

- 医療的ケア児等が身近な地域で相談や療育に係る支援を受けられるよう、新たに医療的ケア児等支援センターを設置し、人材育成及び関係機関の連携等を推進します。
- 重症心身障害児（者）等が利用する千葉リハビリセンターを建て替え、機能強化を図ります。

### 今後の展開

#### ■医療的ケア児等に対する支援の充実【一部新規】 (R4：81百万円)

- ・医療的ケア児等総合支援事業【新規】  
相談支援、人材育成、関係機関の連携促進
- ・医療的ケア児保育支援事業  
保育所への看護師配置等の経費を助成

#### ■千葉リハビリテーションセンター再整備事業 (R4：599百万円)

R4実施設計等、R5～11施工、R12開院

## ヤングケアラーなどへの取組

### 取組の方向性

- 表面化しにくいヤングケアラーの実態を調査分析し、必要な支援体制の構築につなげます。
- 病気やひきこもり等様々な理由で働きづらい人を対象とした新たな就労支援体制の構築を目指します。
- 複雑化する支援ニーズにワンストップでの対応を検討する市町村を支援し、円滑な体制構築を図ります。

### 今後の展開

#### ■ヤングケアラー支援体制強化事業【新規】 (R4：9百万円)

#### ■働きづらさを抱える人を対象にした就労支援モデル事業【新規】

(R4：10百万円)

R4～6モデル事業実施、R7～国に制度化要望

#### ■重層的支援体制構築のための市町村支援事業【新規】 (R4：6百万円)

# 子ども施策の充実（保育人材確保、児童虐待防止等）

## 保育人材の確保・定着の取組

⇒女性の就業率上昇に伴う保育ニーズ増加等に対応

### 取組の方向性

- 保育資格取得を目指す学生への修学支援、保育士の処遇改善、潜在保育士の雇用促進等により、保育人材の確保・定着を図ります。
- 各種研修を通じて保育士の資質向上を図るなど、保育人材の育成を図ります。

### 今後の展開

- 保育士の処遇改善（R4：2,143百万円）  
＜対象者＞ H29：10,323人 → R3：17,612人(見込)
- 修学資金貸付や潜在保育士就労支援など（R4：934百万円）  
保育士修学資金等貸付、就労支援窓口の設置運営など  
＜修学資金貸付額＞ H29：190百万円 → R3：577百万円(見込)
- 保育士や子育て支援員の養成・資質向上（R4：235百万円）  
子育て支援員研修、保育士キャリアアップ研修の実施など  
＜子育て支援員＞ H29：1,001人 → R3：3,691人(見込)

## 児童虐待防止と社会的養護が必要な子どもへの支援の充実

⇒未然防止、早期の発見・対応から自立まで総合的な支援

### 取組の方向性

- 児童相談所の相談・支援体制の強化や一時保護機能の強化を図ります。
- 社会的養護が必要な子どもが家庭環境で生活できるよう、里親等の増加に取り組みます。
- 虐待防止の啓発や各種相談支援、児童養護施設等退所後の自立に向けた支援に取り組みます。

### 今後の展開

- 児童相談所の機能強化（R4：137百万円）  
児童相談所の新設、建替え、ICTを活用した業務改善など  
・印旛、東葛飾の2か所を新設（R8開所予定）  
・柏(S49築)、銚子(S48築)を建替（R9開所予定）  
＜一時保護定員＞ 印旛、東葛飾(※)：各34人  
柏(※)、銚子：31人、15人から拡充予定  
※別途、船橋市、柏市が児童相談所を新設し、一時保護所を設置する予定
- 里親委託推進や施設等退所者の自立支援等（R4：540百万円）  
各種相談、里親研修、児童養護施設退所後の居住費等支援など
- 特別養子縁組の推進【新規】（R4：8百万円）  
養親希望者が養子縁組民間あっせん機関に支払う手数料を助成

# 教育施策の充実（学力向上、心のケア）

## 1 小学校・中学校における学力向上の取組 ⇒ 児童生徒の学習意欲向上と教員の授業力改善！

【課題等】

- ・ R3 全国学力・学習状況調査では、記述式問題で全国平均より正答率が低く、無解答率が高い
- ・ 算数、理科のほか体育や図工は専門的な要素が強く、指導力の差が出やすい

<取組の方向性>

### ■ちばっ子「学力向上」総合プラン

本県が独自に作成した、学びの未来デザイン  
シートの活用（小3～中2）

<今後の展開（R4～R6）>

R5年度から小3～中2の全児童生徒に実施

R4：15万人 ⇒ R5：30万人 ⇒ R6：30万人  
(600校) (1,100校) (1,100校)  
(R4予算額：150百万円)

<取組の方向性>

### ■小学校専科非常勤講師等配置事業

本県独自に、非常勤講師（算数・理科）及び技能  
教科専科指導員（体育・図工）を配置

<今後の展開（R4～R6）>

R6年度までに国の加配と合わせ全校に配置

R4：80校 ⇒ R5：110校 ⇒ R6：160校

(R4予算額：136百万円)

## 2 子どもたちの心のケア等を行う体制の強化 ⇒ 配置拡充によるきめ細かなケアの実施！

【課題等】

児童生徒等からの相談内容の多様化や相談件数の増加への対応（H28：93,620件→R2：100,208件）

<取組の方向性>

### ■学校におけるいじめ対策・不登校児童生徒支援の推進

スクールカウンセラーの配置を段階的に拡充

<今後の展開（R4～R7）> ※中学校は全校配置（毎週）

小学校 R4：280校/637校（隔週） ⇒ R7：全校隔週配置 ※毎年100～130校程度隔週配置へ拡充  
357校/ (月1日)

☞R3年度の9月から全校配置

高校 R4：97校/121校（毎週） ⇒ R7：全校配置（毎週） ※毎年8校程度配置校を拡充

特支 R4：1校/37校（隔週） ※R4新規配置（拡充は効果検証を行った上で検討）

(R4予算額：850百万円)

# オリンピック・パラリンピックのレガシーの活用

## 1 サーフイン競技初の開催地となったことを契機とした、千葉県海の活かした地域活性化

### <取組の方向性>

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を活かし、県内外に向けて海をテーマに統一感を持ったPRを行うことで、千葉県の海の全国的な認知度を押し上げ、県民の本県への愛着を高めるとともに、県内外からの観光客等の増加を図ります。

#### ■千葉の海の魅力発信事業【新規】（R4予算額：96百万円）

- ・本県の海の魅力について、観光・文化芸術・食文化等の様々な面から発信します。
- ・サーフィンなどのスポーツを通じて、地域活性化を推進します。

### <今後の展開>

引き続きアクアラインマラソンや県民の日中央行事等の各種イベントの機会を捉えた効果的な魅力発信について検討していきます。

## 2 パラリンピック開催を契機とする、パラスポーツの推進や障害のある人への理解の促進

### <課題>

共生社会の実現に向け、パラリンピック開催を機に高まったパラスポーツに対する興味・関心を、実際の競技への参加や障害のある人への理解につなげていくことが求められています。

### <取組の方向性>

パラスポーツ等の推進を通じて、ボランティア精神の醸成、障害のある人への理解促進等を図っていきます。

#### ■障害者スポーツ振興事業【一部新規】（R4予算額：54百万円）

引き続き障害者スポーツの県民への周知や、障害のある人がスポーツに親しめる環境整備を行います。

#### ■国際障害者スポーツ競技大会支援事業【新規】（R4予算額：10百万円）

県内で開催される障害者スポーツの世界選手権などの国際競技大会に要する経費の一部を助成します。

#### ■心のバリアフリー教育推進事業（R4予算額：7百万円）

児童生徒がパラスポーツの楽しさや障害のある人への理解等を身に付けられるような取組を行います。

#### ■パラアスリート強化・支援事業【一部新規】（R4予算額：30百万円）

本県ゆかりのパラアスリートやパラスポーツチーム等に対して支援を行います。

### <今後の展開>

引き続きパラスポーツを推進することにより、障害のある人もない人も共にスポーツに親しむことを通じて障害のある人への理解を促進し、共生社会の実現につなげていきます。



# デジタル技術の効果的な活用

～県民の暮らしを豊かにし、子どもからお年寄りまで一人ひとりが活躍できる社会へ～

## 行政のDX

### ○納付手続のキャッシュレス化推進

窓口納付からペイジーやスマホ決済等へ転換  
県立学校入試手続（R4～）等に順次導入

■納付手続のキャッシュレス化推進(44百万円)

### ○市町村業務の標準化・共通化に向けた支援

生活保護や介護保険など市町村共通の業務を  
R7末までに全国的に統一化

■市町村デジタル推進支援事業(30百万円)

## 仕事・くらしのDX

### ○多様で自由な働き方の実現

コワーキングスペース等の新規開設支援など  
働き方改革・テレワークの一層の推進

■ちばの「新しい働き方」推進事業(50百万円) など

### ○年齢や障害の有無に左右されない環境の実現

I C T技術を活用した公共交通サービス導入  
など生活範囲の拡大や生活支援

■新モビリティサービス導入推進事業  
(12百万円) など

## DX推進の主な取組

## インフラのDX

### ○I C T活用工事の推進

ドローンや3次元モデルの導入による施工の  
効率化や生産性向上

■B I M / C I Mの試行導入(38百万円) など

### ○高度な減災・防災体制の実現

センサーを活用したインフラの維持管理や  
急潮予測等の実施

■I C Tを活用した道路維持管理業務の試行導入(4百万円) など

## 産業のDX

### ○医療・福祉の生産性向上

医療・介護データの連携によるサービス向上、  
介護ロボットや遠隔医療技術の充実

■介護事業所におけるI C T導入支援事業(67百万円) など

### ○中小製造業や農畜水産業のスマート化

製品・サービスの高付加価値化や競争力強化、  
スマート機器を活用した農畜水産業の実現

■農畜水産業におけるスマート化の推進(103百万円) など

# 道路ネットワークの整備

## 目標

- 多様な交流・連携を支える道路ネットワークを整備することにより、県民生活の利便性向上、道路交通の安全・安心の確保を図るとともに、県内経済の活性化や観光振興につなげます。

## 取組の方向性

- 圏央道、北千葉道路等のミッシングリンクの解消、富津館山道路等の暫定2車線区間の4車線化を進め、道路ネットワークの強化を図ります。
- 銚子連絡道路・長生グリーンラインなどのアクセス道路や地域に密着した道路整備、交通安全対策を引き続き進めます。

## 今後の展開

- 県内の道路ネットワークを形成する各路線について、早期供用を目指します。  
(令和5年度までの供用を目指す主な路線)
  - ・国道126号銚子連絡道路二期
  - ・国道409号長生グリーンライン (部分供用)
  - ・国道410号久留里馬来田バイパス 等
- 通学路の緊急点検結果を踏まえた交通安全対策について、令和4年度までに着手し早期完了を図ります。

### 〔令和4年度組織の見直し〕

銚子連絡道路及び長生グリーンラインの整備を着実に進めるため、海匠土木事務所に「銚子連絡道路建設課」を、長生土木事務所に「長生グリーンライン建設課」を新設します。



### 〔令和4年度の主な事業〕

■ 北千葉道路整備事業 (印西市～成田市間)	3,311百万円
■ 北千葉道路整備事業 (市川市～白井市間)	170百万円
■ 国道126号山武東総道路二期 (銚子連絡道路)	3,275百万円
■ 国道409号茂原一宮道路 (長生グリーンライン)	1,575百万円
■ 国道410号久留里馬来田バイパス	1,194百万円
■ 交通安全施設整備事業	6,603百万円
■ 連続立体交差事業	2,941百万円
■ 直轄事業負担金 (圏央道等)	7,300百万円

# 土砂災害・浸水対策

## 主な取組

- 河川管理者等が主体となって行う治水対策に加え、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」への転換を進めることとし、一宮川流域において抜本的な治水対策を実施します。  
〔令和4年度当初予算〕一宮川流域浸水対策特別緊急事業 5,233百万円
- 大雨などによる土砂災害を防止するため、急傾斜地・砂防・地すべり箇所において、土砂災害防止施設の整備を推進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を進め、市町村による確実な警戒避難体制の整備を支援します。  
〔令和4年度当初予算〕砂防事業 1,926百万円 うち土砂災害警戒対策事業 310百万円  
(令和3年度2月補正予算 720百万円)  
※土砂災害警戒区域 11,023箇所 (R3.12月末現在)、新たに選定した危険箇所 (基礎調査予定箇所) 10,744箇所 (R3.5月末時点)
- 河川の状態をよりきめ細かに監視するとともに、県民に向けて、より詳しく河川の状態を伝え、住民の迅速な避難に繋げるため、危機管理型水位計や河川監視カメラの設置を進めます。  
〔令和4年度当初予算〕危機管理型水位計 22百万円 (11基)  
(令和3年度2月補正予算 危機管理型水位計 10百万円 (5基)、河川監視カメラ 28百万円 (9基))  
※通常的水位計 108基、危機管理型水位計 63基 ⇒ 79基、河川監視カメラ 32基 ⇒ 41基

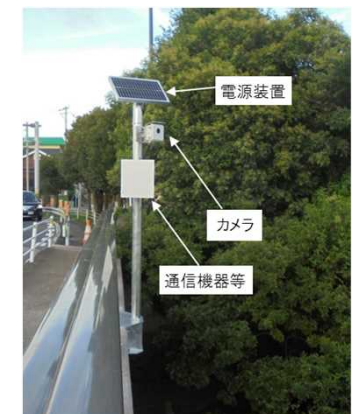
## 今後の展開

- 一宮川流域浸水対策特別緊急事業については、令和6年度までに中下流域、令和11年度までに上流域・支川の整備及び関係市町村の内水対策等を実施します。
- 新たに選定した危険箇所 (10,744箇所) に係る土砂災害警戒区域等の指定について、令和7年度末までの完了を目指します。

〔危機管理型水位計〕



〔河川監視カメラ〕



# 一宮川流域浸水対策

## 概要

- 令和元年と同規模の降雨による家屋、主要施設の浸水被害ゼロを目指して、河川整備と流域市町村が行う内水対策（下水道整備等）、土地利用施策（建築規制等）が連携した「一宮川流域浸水対策特別緊急事業」を実施します。
- 令和6年度までに中下流域、令和11年度までに上流域・支川の整備、内水対策等を実施するとともに、あわせて、流域のあらゆる関係者が様々な流域対策やソフト対策を協働して行い、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を推進します。

### 【凡例】

- 令和元年10月豪雨 浸水範囲
- 主な整備内容



### 【一宮川流域浸水対策特別緊急事業】

【総事業費】 340億円

中流域における河道拡幅等 (R1~6)	152億円
〃 第二調節池増設・堤防嵩上げ (R1~5)	44億円
下流域における河道掘削等 (R2~6)	6億円
上流域・支川における河川改修等 (R4~11)	130億円
茂原市街地における局所的な改修 (R2~6)	7億円
一宮川における流域治水計画の検討 (R3~6)	1億円

### 【令和4年度の主な事業】

・一宮川中流域における河道断面の拡大	2,990百万円
・一宮川第二調節池の増設、堤防嵩上げ	1,048百万円
・一宮川下流域における河道掘削	92百万円
・一宮川上流域、支川における河川改修等	773百万円
・茂原市街地における局所的な改修	270百万円

### 〔令和4年度組織の見直し〕

一宮川流域浸水対策特別緊急事業のさらなる推進を図るため、一宮川改修事務所に「復興第三課」を新設します。